

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34106	図書館情報技術論 Reference - Service Skills at Library	新海 弘之		専門	2	選択	1・2後期

## 科目の概要

コンピュータがあらゆる職場の業務に取り込まれるようになりました。図書館でも例外ではなく、さまざまな情報のデジタル化により、それらを処理する情報技術と知識が必要になりました。ここでは、図書館業務に関する基礎的な情報技術を習得し、また、図書館業務とサービスにおける情報技術やインターネットの活用について、図書館における種々のシステム（図書館業務システム、データベースなど）についての仕組みを学習し、図書館司書として必要な図書館情報技術の知識を身につけます。今後のAIの進展を少し考えながら、図書館司書がどうAIを使いこなしていけるか、AIに任せられるサービスと、やはり人が対応すべきサービスについて考えることで「AIを人が使う」ということにつなげていきます。

学修内容	到達目標
① 情報のデジタル化が社会や文化に与える影響について理解する。 ② AI技術の進化により、リスクの高い業種に図書館司書も含まれる、その背景を理解する。 ③ デジタルアーカイブ・電子書籍の現状と活用価値を理解する。 ④ 様々な図書館のデジタル化の事例を参照しながら、現時点での図書館システムとインターネットを通じたデジタル化によるサービスについて理解する。 ⑤ 図書館サービスへのAIの導入について考え、人としての司書が担うべきサービスを考案する。	① 情報のデジタル化が社会や文化に及ぼす影響について考察し、理解することができる。 ② AI技術の進化で、今後自動化されるリスクの高い職種と社会の動きを理解することができる。 ③ デジタルアーカイブ化の諸問題と価値を理解することができる。 ④ 現時点での図書館システムとインターネットを通じたサービスについて使いこなし、その現状について理解することができる。 ⑤ 図書館司書がどうAIを使いこなしていけるか、AIに任せられるサービスと、やはり人が対応すべきサービスについて考えることで「AIを人が使う」ということについて考察し、理解することができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	地域の図書館、大学の図書館を利用し、どのような情報システムが導入されているか、調べることができる。使いこなすことができる。
	働きかけ力	
	実行力	提出物（図書館業務へのAIの導入についてのグループワークによるレポート）は、期限内までに確実にやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業内での問題点を解決するために、先生に質問、他の人から意見を聞くなど、解決するための行動を起こすことができる。
	計画力	
	創造力	自分の考える図書館へのAIの導入と、人が担うサービスについて、なぜその業務をAIあるいは人へ振り分けたか、その根拠を明確にし、自由な発想と好奇心を持ち、アイデアを提案することができる。
チームで働く力	発信力	自分の考えをまとめ、わかりやすく説明することができる。他者の意見を尊重し議論を進めることができる。
	傾聴力	作品発表する際は、発表者の説明に対し、うなずきやあいづちをしながら聴く姿勢を持ち、工夫され印象に残るところは細目にメモをとることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：田中均著『図書館情報技術論』青弓社。必用に応じて授業毎に、プリントを配布します。  
参考文献：なし

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館フィールドに関する科目  
資格との関連：図書館司書

## 学修上の助言

情報のデジタル化（電子書籍、電子図書館）など、ネットワーク上での検索で、利点、課題や問題点について事例を基に解説します。わからない箇所は教員に質問をしましょう。居住する地域の図書館を利用し、その図書館の特色を調べてみましょう。

## 受講生とのルール

この科目は、図書館司書資格に関連します。図書館業務とサービスにおける情報技術やインターネットの活用について情報収集をし調べるという習慣を身につけましょう。大学図書館、地元の公共図書館を大いに利用しましょう。携帯電話の電源を切り、カバンに入れておく。欠席者には、補習を行う。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	50	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートテーマ、デジタルアーカイブについてどのようなものがつくられているか、3例について調べる。期待される効果について調べる。今後どのようにして活かされるべきか自分の考えを述べる。</li> <li>・授業で学んだ知識や広い分野で情報収集したことが随所にみられるレポート内容であること。</li> <li>・自分の考えが具体的に説明されており、わかり易く理解してもらえ、説得力のある内容の文章であること。</li> <li>・締切期日までに完成し提出されること。</li> </ul>
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①			<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館司書がどうAIを使いこなしているか、AIに任せられるサービスと、やはり人が対応すべきサービスについて考えることで「AIを人が使う」ということについて考察する。</li> <li>・図書館の仕事一人とAIの協働について（発表）</li> </ul> プレゼンテーション完成度（特に高い：40点、完成度は高く表現に工夫がみられる：30点、完成はしているが表現に工夫が必要：20点） プレゼンテーションの考え方、表現の工夫を評価する。		
		②					
		③					
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>【主体性】地域の図書館、大学の図書館を利用し、どのような情報システムが導入されているか、調べる。</li> <li>【実行力】提出物は、期限内までに確実にやり遂げる。</li> <li>【課題発見力】授業内での問題点を解決するために、教員に質問、他の人から意見を聞くなど、解決するための行動を起こす。</li> <li>【創造力】自由な発想で好奇心を持ち、アイデアを提案する。</li> <li>【発信力】作品発表をする際は、わかりやすく整理し、自分の考えをまとめ発信することができる。</li> <li>【傾聴力】発表者の説明に対し、うなずきやあいづちをしながら聞き、工夫されているところはメモをとり聞く。</li> <li>【規律性】遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。</li> </ul>	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）評価 ① 講義が中心になるので、毎授業の内容を理解し、積極的に取り組む姿勢（居眠りをせず）がみられる。 ② 成果発表を行います。独自の考えで具体的に説明され、工夫が随所にみられる効果的なプレゼンテーション発表ができています。 ③ レポートにおいて、授業で学んだ知識や広い分野で情報収集したことが随所にみられ、考察がされているレポート内容になっている。 ④ いろいろな図書館の取り組みを調べ、レポートや発表に生かされている。 ⑤ 学習態度にある7項目が達成できている。 A（優）評価 上記項目①②③④ができています。⑤の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む6項目が達成できている。	B（良）評価 ① 講義が中心になるので、毎授業の内容を理解し、取り組んでいる。 ② 成果発表を行います。具体的に説明されたプレゼンテーション発表ができています。 ③ レポートにおいて、授業で学んだ知識や情報収集したことがみられるレポート内容である。 ④ いろいろな図書館の取り組みを調べ、レポートや発表に生かされている。 ⑤ 学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。 C（可）評価 上記項目①②③ができています。⑤の学習態度にある7項目のうち4項目が達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の概要説明 情報社会の新しい文化 情報のデジタル化（電 子図書館、デジタル アーカイブ、電子書 籍）を概説する	講義と質疑応答 PPtで解説	今後の授業内容を理解 する。電子図書館、デ ジタルアーカイブ、電 子書籍の概念を理解で きる	（復習）電子図書館、デ ジタルアーカイブ、電子 書籍の概念をまとめてお く。 （予習）15回の授業内容 と2回目の内容（コン ピュータの歴史）を確認 し、インターネットを利用 し下調べをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
2	コンピュータの構成 コンピュータとネット ワークの仕組みを解説 する	講義 PPtで解説	コンピュータの変遷を 知り、ネットワークの 仕組みを理解できる	（復習）コンピュータ とネットワークの仕組 みを理解できるよう確 認する。 （予習）図書館が提供 している検索システム やデジタルデータにつ いて検索してみる。	180	実行力 課題発見力 規律性
3	インターネットの基礎 インターネットの仕組 みと検索エンジン、イ ンターネット上の代表 的なサービスについて 解説する	講義 PPtで解説 ネット検索	インターネットの概要 と代表的なサービスに ついて理解できる。	（復習）インターネッ トの活用の現状につ いて確認する （予習）いろいろな図 書館のOPACを検索して みる。	180	実行力 課題発見力 規律性
4	図書館のコンピュータ 活用の現状 図書館の蔵書目録、蔵 書管理を中心に図書館 における情報技術の活 用の現状について理解 する。	講義 PPtで解説 ネット検索	図書館の蔵書検索の事 例から仕組みを理解で きる	（復習）図書館蔵書検 索について確認する （予習）図書館に向 いて本を借りてみる。	180	実行力 課題発見力 規律性
5	業務システムと連動す るその他の機器につ いてや仕組みにつ いて解説する。	講義 PPtで解説	図書館のいろいろな業 務にかかわる機器やそ の仕組みを理解でき る。	（復習）地元の図書館 へ出向いて、実際に使 われている様々機器に ついて確認する。 （予習）いろいろな図 書館のホームページを 検索し、どんなメ ニューがあるか調べ る。	180	実行力 課題発見力 規律性
6	情報技術と利用者サー ビス 情報技術を活用した利 用者サービスと利用者 管理（貸出管理、利用 者管理システム）を解 説する。	講義 PPtで解説 演習 ネット検索	情報技術を活用した図 書館の利用者サービ スの仕組みを理解でき る。	（復習）地元の図書館 のインターネットを通 じたサービスを利用し てみる。 （予習）国立国会図 書館のホームページに アクセスしてどんなメ ニューがあるか確認す る。	180	実行力 課題発見力 規律性
7	いろいろな図書館が提 供するインターネット 上のデータベースなど のサービスを理解す る。	講義 PPtで解説 ネット検索	いろいろな図書館が提 供するインターネット 上のデータベースなど を利用できる。	（復習）国立国会図 書館のデータベースを検 索してみる。 （予習）岡崎市立中央 図書館の「郷土コレク ション」を検索してみ る。	180	主体性 課題発見力 創造力 規律性
8	いろいろな図書館が提 供するデジタルアーカ イブについて理解す る。	講義 PPtで解説 ネット検索	いろいろな図書館が提 供するデジタルアーカ イブを利用できる。	（復習）いろいろな図 書館の提供するデジタ ルアーカイブを検索し てみる。 （予習）愛知県図書館 の電子書籍を使ってみ る。	180	創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	いろいろな図書館が提供する電子書籍の現状について理解する。	講義 Pptで解説 ネット検索	図書館が提供する電子書籍の現状について理解し、利用できる。	(復習) 愛知県図書館の電子書籍を使ってみる。 (予習) いろいろな図書館のホームページを検索し、どんなSNSのメニューがあるか調べる。	180	発信力 傾聴力 規律性
10	図書館の広報活動と情報発信の現状を活用事例について解説する。	講義 Pptで解説 ネット検索	図書館の広報活動と情報発信の現状を理解できる。	(復習) 地元の図書館のSNSの活用の仕方を確認する。 (予習) 著作権法の第31条を図書館でコピーしてみる。	180	主体性 課題発見力 創造力 規律性
11	知的財産権と著作権について解説する。	講義 Pptで解説	知的財産権と著作権について理解できる。	(復習) テキストの該当箇所をもう一度読んでみる。 (予習) テキストの該当箇所を読む。	180	課題発見力 創造力 発信力 規律性
12	情報セキュリティとシステム保守。学校図書館と情報技術について理解する。	講義 Pptで解説	情報セキュリティとシステムの保守及び学校図書館と情報技術の概要について理解できる。	(復習) テキストの該当箇所をもう一度読んでみる。 (予習) タイトルに「AI」がある本を一冊読んでみる。	180	創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	図書館とAI 1 グループ分け。予習で読んできたAIについての本の感想を共有する。 この講義で見てきた図書館のサービスを書き出してみる。	講義 グループ討議 演習(ワークショップ)	図書館サービスについて自分の考えを述べることができる。	(復習) (予習) 図書館サービスを自分なりにAIの仕事、人の仕事、わからない、に分けてみて、その理由をまとめておく。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
14	図書館とAI 2 1で洗い出した図書館サービスIの仕事、人の仕事に分けてその理由をまとめてレポートを作成する。	ワークショップ レポート作成	レポート作成のための情報収集とまとめ方が理解できる。	(復習) (予習) 発表の原稿を考え、発表の練習をする。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性
15	発表・まとめ ① 図書館とAI グループレポート発表 ② 授業1回～14回まとめ 図書館情報技術の未来について考える	発表 プロジェクターによる資料提示 ① ②に対してフィードバック	発表の内容をわかりやすく説明できる。 発表者の説明を傾聴できる	(復習) 図書館情報技術の未来について考察する	180	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力